

# 指定文化財一覽

(安芸太田町指定文化財)

番号	指定区分	種別 (種類)	名称 (指定年月日)	員数	構造・形式・大きさ等	沿革・その他
		分類				
1	町 有形民俗	有形民俗文化財 (その他)	川舟関係用具 (昭和37年7月1日)	一式	川舟の櫓、櫂、網や船頭が身に付ける衣類や携行物	川・森・文化・交流センター玄関ロビー及び同2階の歴史民俗資料館に展示。
		民俗文化財				
2	"無形民俗	無形民俗文化財 (その他)	加計げんこつ踊り (昭和38年1月12日)	一	揃いの浴衣に編笠、背中に行灯を背負い、左手に筒型の提灯、右手に鳴子を持つ。蠟燭が灯る	元来は鳥追いの鳴子を用いて踊る豊年踊りの一種。丁川地区のみに伝わる。
		民俗文化財				
3	"天然	天然記念物 (生物)	吉水園の淡水海綿 (昭和42年6月10日)	一群	無色透明で最も原始的な多細胞動物。 『ヌマカイメン』と思われる	吉水園内の「玉壺池」に棲息。
		記念物				
4	"無形民俗	無形民俗文化財 (その他)	殿賀田楽 (昭和56年11月30日)	一	六調子、八調子、中の調子の3調子で舞われる。箆、大太鼓、小太鼓、調子鉦、早乙女で構成	殿賀地方に伝わる田植囃子。
		民俗文化財				
5	"史跡	史跡 (古墳)	遅越第一号古墳 (昭和59年4月1日)	一ヶ所	円墳、横穴式石室 面積=953 m <sup>2</sup> (未発掘地域含む)	
		記念物				
6	"建造物	重要文化財 (石造物)	八幡神社石燈籠 (昭和60年1月10日)	一石	高さ5.5m、笠部分は8畳敷(13.2 m <sup>2</sup> )の広さで、亀の形。自然石では日本一といわれる。	安政4年(1857)建立。笠石は対岸の高下から運ばれ、その際神の使いの亀に助けられた逸話
		有形文化財				
<p>指定解除(平成28年12月26日)</p> <p>理由; 枯死による倒木のため</p>						

(安芸太田町指定文化財)

番号	指定区分	種別 (種類) 分類	名称 (指定年月日)	員数	構造・形式・大きさ等	沿革・その他
8	町 天然	天然記念物 (樹木) 記念物	津浪河内神社のスギの 群生 (平成9年1月23日)	八 株	(8本中最大木の数値) 胸高幹囲4.85m, 樹高40m, 推定樹齢600年	神社の社殿を取り囲む ように巨樹8本がそび えている。神社は永和 元年(1375)建立。
9	" 天然	天然記念物 (樹木) 記念物	辻ノ河原のサイジョウ ガキ (平成9年1月23日)	一 株	胸高幹囲3.32m, 樹高16m 推定樹齢500年 県内第1位(県文化財協会資 料)	伝承によると「飢饉の 時に干し柿にしておく 役があった。」といわ れ、歴史的意義を持つ。
10	" 無形 民俗	無形民俗文化財 (その他) 民俗文化財	神楽一四神一 (平成10年1月23日)		4人の舞子が烏帽子をかぶり、 垂直に袴をはき、小さな柄の ない幣と鈴、後に扇子と鈴で 舞う	儀式舞。石見神楽矢上 系の流れをくむ芸北町 橋山神楽団より伝授さ れる。
11	" 天然	天然記念物 (樹木) 記念物	早木のスイリュウヒバ (平成11年5月28日)	一 株	胸高幹囲2.87m, 樹高12m 推定樹齢280~300年	一般には「スイリュウ」 といわれる。樹高、幹囲 の大きさにおいて、こ の種として貴重。
12	" 天然	天然記念物 (樹木) 記念物	古寺尾のウラジロガシ (平成14年7月5日)	一 株	胸高幹囲7.35m, 樹高22m 推定樹齢800年 胸高幹囲県内第1位, 樹高2位	幹根元部分は火災によ り空洞化。しかし、樹勢 が急激に損なわれると は考えられない。
13	" 建造 物	重要文化財 (建造物) 有形文化財	堀八幡神社 玉殿 (平成16年3月17日)	一 基	三間社, 流造, 柿葺 幅48.5寸, 奥行25.2寸, 高 さ38.8寸	15世紀中期~後期の建 立。室町時代前期~中 期の建築様式を残す貴 重な建築史料。
14	" 建造 物	重要文化財 (建造物) 有形文化財	横山霊岸寺観音堂 厨 子 (平成16年3月17日)	一 基	土居桁, 円柱, 木鼻付き, 如意 頭屋根, 正面棧唐戸。幅20寸, 奥行14.2寸, 高さ35.8寸	1522年建立(墨書 銘)。細部の造りも本 格的な唐様の本格的 な厨子。

(安芸太田町指定文化財)

番号	指定区分	種別 (種類) 分類	名称 (指定年月日)	員数	構造・形式・大きさ等	沿革・その他
15	町 美術	重要文化財 (美術工芸品) 有形文化財	木造阿弥陀如来像 (平成6年6月23日)	一 軀	寄木造, 安阿弥風の仏像, 台座は八菱形三段框, 像高 39cm, 台座高 22.5cm	室町時代の作と推定
16	" 美術	重要文化財 (美術工芸品) 有形文化財	絹本着色親鸞聖人伝絵 (平成6年6月23日)	四 幅 一 対	色彩が鮮やかで筆致が精巧, 図柄が古風。 一幅が横 80cm, 縦 190cm	江戸時代 17世紀後半の 作。収納箱に宝永元年 (1704)とある
17	" 美術	重要文化財 (美術工芸品) 有形文化財	木造阿弥陀如来立像 (平成6年6月23日)	一 軀	寄木造, 安阿弥風の仏像, 台座は八菱形三段框, 像高 39cm, 台座高 22.5cm	室町時代末期の作と推 定される。明治44年本 山東坊住職より譲り受 けたもの
18	" 史跡	史跡 (山城跡) 記念物	西光寺山城跡 (平成6年6月23日)	一 ヶ 所	立地は丘陵先端, 4郭を中心と する小規模な郭群 頂部の一郭は 25m×20m	室町時代中期 栗栖氏一族の居城
19	" 史跡	史跡 (山城跡) 記念物	梶原山城跡 (平成6年6月23日)	一 ヶ 所	遺構は最高所に構えた一郭を 中心に、三方に分かれ尾根を 加工した郭群と堀切からなる	室町時代中期 栗栖河内の居城(芸藩 通誌)
20	" 史跡	史跡 (構造物) 記念物	田之尻の猪垣 (平成6年6月23日)	一 ヶ 所	石塁が7mぐらいの畑(現在 は山林)を囲む形で斜面に沿 って築工。全長 81.5m, 石塁 の高さ 2m前後	原形がよく残ってい る。造られたのは元禄 期か享保年間と推定さ れる
21	" 名勝	名勝 (峡谷) 記念物	龍頭峡 (平成6年6月23日)	一 ヶ 所	高さ 126mの岸壁からなる「追 森の滝」落差 40mの「二段滝」 落差 20mの「奥の滝」約 2km の龍頭溪谷からなる	寛政9年 都志見往来日 記に紹介され「芸藩通 誌」にも絵と文が記述 されている

( 安芸太田町指定文化財 )

番号	指定区分	種別 (種類) 分類	名称 (指定年月日)	員数	構造・形式・大きさ等	沿革・その他
22	町名勝	名勝 (自然林)	悠久の森 (平成6年6月23日)	一ヶ所	原生的天然林「引明の森」究極の人工林「横泓の森」と「分収育林」からなっている	平成2年(1990)7月「悠久の森条例」を定めた。村有林100周年の歴史が基盤
		記念物				
23	" 史跡	史跡 (構造物)	砂ヶ瀬の猪垣 (平成7年9月6日)	一ヶ所	全長300mの石塁。イノシシやシカからの「シシ除け」の構造だけでなく、捕獲や落石防止の役割も考えられる	享保20年(1735)ごろの築造と推定される。(古文書等にはっきりした記録はない。)
		記念物				
24	" 無形民俗	無形民俗文化財 (その他)	上殿囃子田 (平成元年3月10日)		現在、16種類の手合わせに、中ばやし、苗取り、さんばいの神迎え、神送りまで構成して演技することができる	古くからの伝統そのままの謡歌が伝承されていることは大変貴重
		民俗文化財				
25	" 建造物	重要文化財 (建造物)	実際寺の開山塔 (平成4年1月27日)	一基	高さ106cm、幅最大50cm最小32cm 花崗岩製の無縫塔 開山した雪舟嘉猷禅師の墓塔	雪舟禅師がなくなった永和元(1375)年後の14世紀末ごろ造立と推察される
		有形文化財				
26	" 建造物	重要文化財 (建造物)	円光寺の山門 (平成4年1月27日)	一基	高さ430cm、幅244cm、奥行192cm 木造四脚門(棟札が残る)	元文2(1737)年の建立。両袖門がつき、懸魚、墓股など細部には鎌倉時代の手法が
		有形文化財				
27	" 美術	重要文化財 (美術工芸品)	円光寺の弥陀三尊仏 (平成4年1月27日)	三軀	阿弥陀如来立像 80.5cm 聖観音菩薩立像 53.0cm 勢至観音菩薩立像 54.0cm (いずれも寄木造り)	各部の特徴から室町時代中期の作品といわれ、この地方で三尊形式である点は珍しい
		有形文化財				
28	" 天然	天然記念物 (樹木)	平見谷大歳神社の社叢 (平成7年7月6日)	一ヶ所	スギ46本 ヒノキ3本 アカマツ2本 ナラ1本 シデ1本	胸高5.24m、高さ34mのスギは県内でも有数の巨木
		記念物				

(安芸太田町指定文化財)

番号	指定区分	種別 (種類)	名称 (指定年月日)	員数	構造・形式・大きさ等	沿革・その他
		分類				
29	町天然	天然記念物 (樹木)	猪山大歳神社の社叢 (平成7年7月6日)	一ヶ所	スギ31本、モミ50本、ナラ2本、クリ2本、イロハカエデ2本、ハウノキ3本、ヒノキ2本、ソヨゴ1本、イタヤカエデ2本、アベマキ1本	スギ、モミを中心とする巨樹群。境内の建物近くに巨樹が密生するという珍しい景観を示している
30	町天然	天然記念物 (記念物)	奥ノ原鉱山跡の磁鉄鉱床の露頭 (平成17年10月28日)	一ヶ所	奥ノ原山山頂付近の標高1020.6mの稜線沿いにある。稜線を6mあまり掘り下げられており、その付近から西斜面にかけて、南北方向に露天堀りの跡と磁鉄鉱床の露頭が見られる。 0.074ha	二畳紀(約2億5千万年前)の地層に白亜紀末期(約7千万年前)に花こう岩が貫入して出来たスカルン鉱床であり、露天堀りの跡と磁鉄鉱床の露頭が見られる。
31	町史跡	史跡 (記念物)	宗玄寺の石塁 (平成17年10月28日)	一ヶ所	この石塁は、その構造から中世に築造されたものと考えられる。大きな自然石によっており、その広い面を見せる等の築き方は特徴的であって、福井市の一乗谷遺跡に戦国時代の類例が存在しているが、山県郡西部地方では他に見当たらない貴重な遺跡である。 経蔵側から北へ30m	築いたのは中世、安芸太田地方の開発領主であったという栗栖氏の可能性を指摘できる。栗栖氏は、一族が近接する箕角城(跡)に拠ったと伝えており、その館跡(土居)に近世になって宗玄寺が他から移築されたものと推定される。
32	町史跡	史跡 (記念物)	桜尾城跡 (平成18年8月10日)	一ヶ所	土居裏山にある標高378mの山頂部に位置する。10以上の郭(曲輪)群と土塁・堀切など、城を構成する各遺構の保存状態は良好。標高320m以上を基本に指定範囲。	郭(曲輪)の規模・配置などの特徴から16世紀後半の戦国時代に築城されたものと考えられる。詳細は不明であるが江戸時代の資料によると太田栗栖氏の一族が居城したと推定される。

(安芸太田町指定文化財)

号	指定区分	種別 (種類)	名称 (指定年月日)	員数	構造・形式・大きさ等	沿革・その他
		分類				
33	町 建造物	重要文化財 (建造物) 有形文化財	堀八幡神社の本殿 (平成 22 年 3 月 18 日)	一 基	三間社 流造、銅板葺	本殿は、約 300 年前の江戸時代中期に再建され、現存している貴重な建造物である。平安時代以来の正統の造りが受け継がれるとともに、葦束など中世の部材を遺し類い稀な価値を持つといえる。
34	町 建造物	重要文化財 (建造物) 有形文化財	長尾神社本殿 (平成 22 年 3 月 18 日)	一 基	三間社 春日造 (入母屋造妻入)	本殿は、約 280 年前の江戸中期に再建され、和歌山の熊野権現と同じ春日造りで、県内随一という珍しいもの。内陣・内々陣のみで外陣がないのは、早い年代に拝殿から拝んでおり、厳島神社など大社に見られる格式の高い本殿である。
35	町 建造物	重要文化財 (建造物) 有形文化財	正覚寺 経蔵 (平成 25 年 3 月 19 日)	一 棟	正面三間、柱真々12尺1寸、側面四間、柱真々12尺1寸、宝形造、 棧瓦葺、向拝一間、棧瓦葺 附 傳太子像 1 軀 脇侍像 2 軀 一切経	元禄 15 (1702) 年の建築で広島県内では現存最古の土蔵造の経蔵であり、全国的にみても極めて古く貴重。

(安芸太田町指定文化財)

番号	指定区分	種別 (種類)	名称 (指定年月日)	員数	構造・形式・大きさ等	沿革・その他
		分類				
36	町美術	重要文化財 (美術工芸品) 有形文化財	実際寺 木造雪舟禪師倚像 (平成 25 年 3 月 19 日)	一 軀	像高 34.0 cm	篤実そうな表情や袖の写実的な表現の仕方など、小型ながら雪舟禪師の遺徳を偲ぶことのできる貴重な彫刻。本体や曲ろくの一部に破損が見られるが、保存状態は良好。
37	町美術	重要文化財 (美術工芸品) 有形文化財	諏訪神社 隨身倚像 (平成 25 年 3 月 19 日)	一 対	木造(寄木造) 左隨身倚像 47.0 cm 右隨身倚像 47.5 cm	隨身像は二体から成るが、両像とも木造で袖端を別に作る寄木造。冠束帯の彫り方は、表現が乏しいが、地方の作らしい荒々しさを感じることができ、安芸太田町の文化を知る上で貴重。
38	町美術	重要文化財 (美術工芸品) 有形文化財	諏訪神社 狛犬 (平成 25 年 3 月 19 日)	一 対	阿形狛犬 高さ 32.5 cm 長さ 22.5 cm 吽形狛犬 高さ 31.5 cm 長さ 18.5 cm	諏訪神社の狛犬は、阿形と吽形の一对であり全体の形状から十六世紀前期に制作されたものと考えられる。保存状態は概ね良好。
計	37	有形文化財美術 7、有形文化財建造物 8、無形文化財 0、無形民俗文化財 4、有形民俗文化財 1、名勝 2、史跡 7、天然記念物 8				
合計	51	有形文化財美術 10、有形文化財建造物 7、無形文化財 0、無形民俗文化財 8、有形民俗文化財 1、特別名勝 1、名勝 3、史跡 8、天然記念物 13				